

# 野々江大川水系 洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) (野々江大川・伊倉川)

位置図

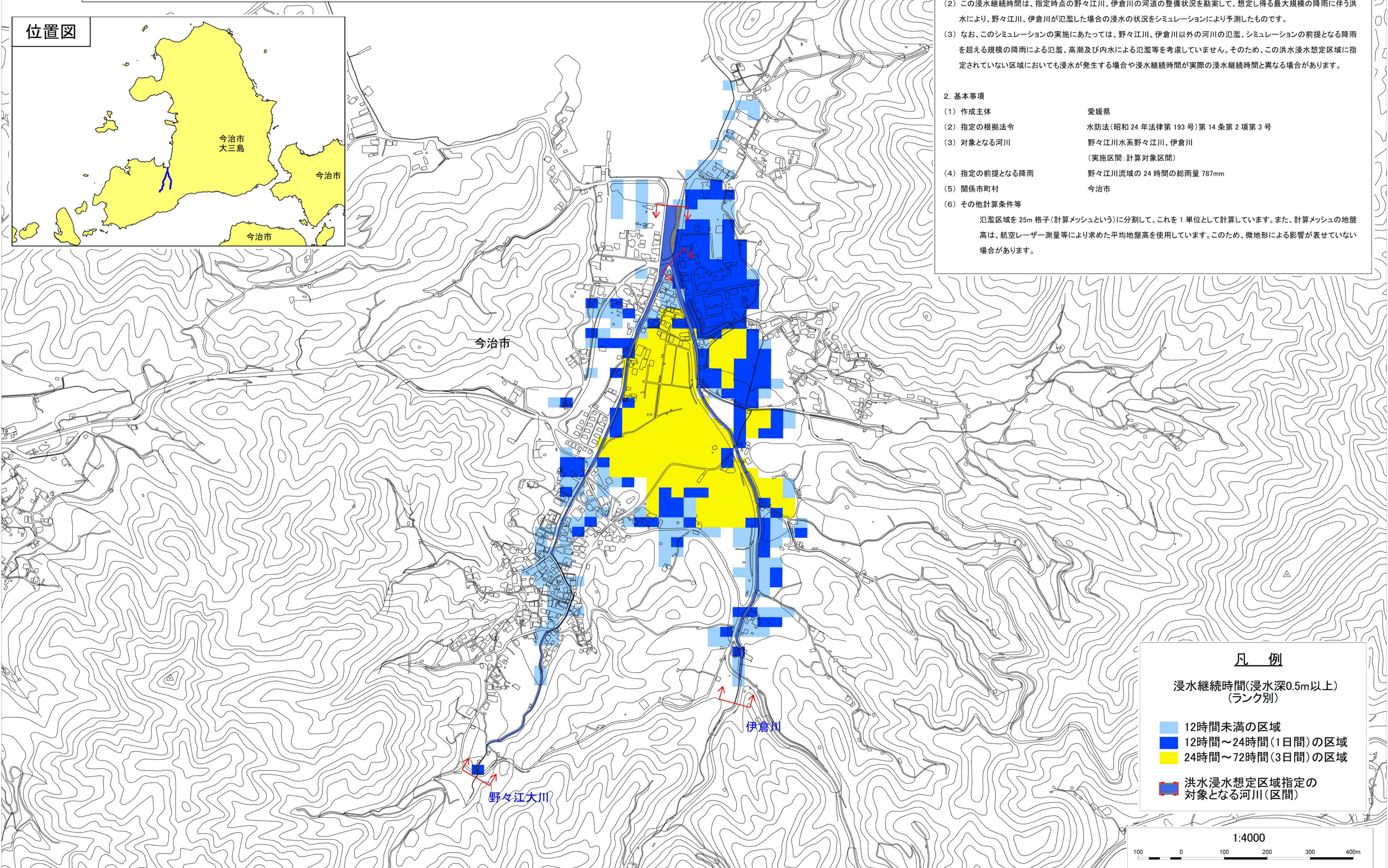


## 1. 説明文

- (1) この図は、野々江川水系野々江川、伊倉川の対象区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)による洪水浸水想定区域のうち、浸水した場合に想定される水深が50cm以上となる区域の浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、指定時点の野々江川、伊倉川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、野々江川、伊倉川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、野々江川、伊倉川以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。そのため、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。

## 2. 基本事項

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 作成主体       | 愛媛県  |
| (2) 指定の根拠法令    | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項第3号  |
| (3) 対象となる河川    | 野々江川水系野々江川、伊倉川<br>(実施区間: 計算対象区間)   |
| (4) 指定の前提となる降雨 | 野々江川流域の24時間の総雨量787mm   |
| (5) 関係市町村      | 今治市  |
| (6) その他計算条件等   | 氾濫区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。 |



## 凡 例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)  
(ランク別)

- 12時間未満の区域
- 12時間~24時間(1日間)の区域
- 24時間~72時間(3日間)の区域
- 洪水浸水想定区域指定の対象となる河川(区間)

1:4000

